

平成28年度  
(第1四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

### 株式会社 広貫堂

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売り上げ面では、31億4,100万円となり前年同期比112.1%、計画比102.2%でした。これは呉羽工場顆粒剤工場が稼働し始め、CMO事業部の対前年同期比の売り上げが増加したことによるものです。

収益面では顆粒剤工場がフル稼働に至っていないため、減価償却費が影響し、経常利益が前年同期比2,700万円増加の△2億5,100万円となりました。

(事業運営面)

引き続き大型投資を行った、顆粒剤工場の安定立ち上げに注力しております。

販管費のコストコントロールに取り組み、前年同期比△1億2,700万円、計画比5,100万円の3億4,000万円となっております。

#### ○ 課題への取組み

17年度黒字化に向け、さまざまな施策に取り組んでまいります。

#### ○ トピックス、適時情報

1. 6月20日開催の第102回定時株主総会にて取締役・監査役が選任されました。

代表取締役 CEO : 塩井保彦

取締役 : 境井洋 稲場豊 中尾哲雄 小沢伊弘 新田八朗 阿部武夫 濟木 育夫

監査役 : 竹内二三雄 佐伯康博 桶屋泰三

2. 東日本大震災の震災の孤児支援のため、岩手、宮城、福島の3県に義援金計300万円を寄付しました。

#### ○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第1四半期、平成28年4月～平成28年6月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	2,644,706	2,842,438	2,799,733	3,141,059
経常利益	21,501	-111,534	-279,136	-251,308

### 広貫堂グループ

#### ○ 連結経営成績に関する定性的情報

連結売上高は、38億6,800万円となり、前年同期比2億6,200万円の増加、計画比8,800万円の増加となりました。

これは呉羽工場顆粒剤工場が稼働し始め、CMO事業部の対前年同期比の売り上げが増加したことによるものです。

損益面では、前年同期比5,100万円増の△2億5,200万円となりました。前期に引き続き損失を計上していますが、顆粒剤の売り上げが徐々に立ちはじめ、販管費をコントロールする事により、前期からの改善を目指します。

#### ○ 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第1四半期、平成28年4月～平成28年6月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	3,316,588	3,413,459	3,606,055	3,868,484
経常利益	9,948	-164,421	-303,610	-252,423

平成28年度  
(第1四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

グループ各社

### 薬都広貫堂 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

100mLドリンク剤をはじめとする液剤の販売が順調に推移したこと、また、製品の廃止にともなう売上減については昨年度に発売した新製品によってカバーできたこと等から、売上高は前年同期比100.5%の6億8,700万円となりました。しかしながら、経常利益は前年同様、マイナスで第1四半期を終えました。

(事業運営面)

配置市場のニーズに応じた企画提案・販売活動を積極的に推進し、また、製品とサービスを融合させた、新配置ビジネスモデルの構築に取り組み、業績回復につなげてまいります。

#### ○ トピックス、適時情報

1. 6月17日に第10回定時株主総会および取締役会を開催し、取締役3名、監査役1名が選任されました。  
代表取締役社長 槻太朗 取締役 劔田義徳 取締役 林庸平 監査役 但中秀隆

2. 第1四半期において、下記の製品を発売いたしました。

・ワントップEXゲル【第②類医薬品】・晴々快足SP【健康食品】・ゆずとかぼすの酢プラス【清涼飲料水】

#### ○ 業績の概況 (第1四半期、平成28年4月～平成28年6月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	721,098	633,533	684,253	687,434
経常利益	-20,043	-15,163	-8,295	-11,375

### 日本薬剤 株式会社

#### ○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

売上高は、100mLドリンクの販売増などが寄与し、前年同期比100.7%の14億300万円となりました。  
経常利益は前年同期比97.1%の2,400万円となりました。

(事業運営面)

今年度の経営目標である

◎「販路の拡大→日本薬剤第2の柱 処方箋薬局口座の構築」

◎「収益性重視、収益構造の変革→売上目標55.5億円、経常利益2,800万円以上を目指す」

◎「商品開発部の新設 スピードを持って売れる商品開発」を推進していきます。

#### ○ トピックス、適時情報

1. 6月30日に第56回定時株主総会および取締役会を開催し取締役6名が選任されました。

代表取締役社長 宇多雅美 取締役 江野本加寿雄 取締役 林庸平 取締役 塩井貴晴  
取締役 野村卓三 取締役 澤田稔 監査役 但中秀隆

2. 新発売(4月～6月)

医薬品 胃腸薬 1アイテム

食品 水素水 パウチ飲料 1アイテム、経口補水液ゼリー パウチ飲料 1アイテム

#### ○ 業績の概況 (第1四半期、平成28年4月～平成28年6月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	1,175,010	1,225,115	1,392,671	1,402,503
経常利益	32,048	11,559	24,413	23,695

平成28年度  
(第1四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

グループ各社

### 広貫堂薬品販売 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

前年同期4億5,900万円の売上に対し、4営業所閉鎖に伴い3億9,800万円と6,000万円の減収となりました。しかし、交換薬損失の改善、雑費の軽減などから、利益面では△1,400万円から1,300万円と2,700万円の増益となりました。

(事業運営面)

社内の構造改革として過去の売上至上主義から、営業所別の個別損益重視に切り替えました。また損益連動型の賞与体制を整え、個別最適が、全体最適となるような仕組みに切り替えました。

#### ○ トピックス、適時情報

- 4月より劔田義徳が代表取締役役に就任しました。
- 基軸商品である六神丸、熊胆圓、ドリンク剤の愛用顧客作りを行うとともに、顧客の減少分の補てんとして、社員による新規顧客の獲得、他、新たな新規顧客獲得の仕組みを創設しました。

#### ○ 業績の概況 (第1四半期、平成28年4月～平成28年6月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	519,990	438,838	459,308	398,654
経常利益	-22,688	-47,213	-14,348	13,056

### トキワ広貫堂 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

販売面においては、前年同期比96.4%予算計画比96.5%となりました。経費面につきましては、前年同期比102.1%と若干増えております。経常利益は、300万円に対して80万円となりました。

(事業運営面)

水剤文化の構築に向けて2月～5月サンリキソZⅡの置き込みを行い愛用者づくりを行いました。又6月に水素関連商品としてサプリメントを取扱い販売力強化を行いました。

#### ○ トピックス、適時情報

- 平成28年5月20日11:00よりトキワ廣貫堂株式会社第1回取締役会が開催されました。
- 第12回定時株主総会が6月17日開催され、取締役3名が選任されそれぞれ就任致しました。その後の取締役会で代表取締役社長に平井 裕が選任され就任致しました。取締役の陣容は、代表取締役平井裕、取締役劔田義徳、取締役大野雅幸

#### ○ 業績の概況 (第1四半期、平成28年4月～平成28年6月)

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
売上高	63,798	61,125	60,100	57,924
経常利益	-783	-750	3,906	815